

「第2期 当麻町まち・ひと・しごと地方版総合戦略」の推進に関する効果検証会議

2020年度から2024年度までの5年間を対象期間とする「第2期 当麻町まち・ひと・しごと地方版総合戦略」の推進に関し、外部有識者による効果検証を実施するものです。

《外部有識者による効果検証について》

【外部有識者】※計画策定委員を基本に「産官学金労言」関係者で構成

区分	団体及び所属等	氏名
産	当麻町森林組合 代表理事組合長	中瀬 亘
官	当麻町副町長	遠藤 憲彦
学	当麻町教育委員	森脇 幸司
金	北洋銀行当麻支店 支店長	福井 里枝
金	旭川信用金庫当麻支店 支店長	佐々木 直哉
労	当麻町社会福祉協議会 会長	河野 豊
言	旭川ケーブルテレビ株式会社 取締役	齋藤 裕一

(敬称略・順不同)

【オブザーバー】

北海道上川総合振興局 地域創生部 部長 片岡 英善 様

【事務局】

事務局長 まちづくり推進課 課長 川本 充宏
同 主幹 横山 順子
同 地域振興係 係長 宍戸 友裕
同 地域振興係 主事 田澤 幸弥
同 地域振興係 主事 菅 ゆめの

まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPI

市町村名 当麻町

【基本目標1 住みやすい環境や子育て環境をいかにし、結婚・出産・子育ての希望をかなえる。】

数値目標		(基準値)		令和2年度実績		令和3年度実績		令和4年度実績		最終年度 (令和6年度)目標値		R4年度時点 進捗率	※内訳等
		H20-24	1.42	—	推計発表なし	R3	推計発表なし	R4	推計発表なし	R6	1.60	—	
合計特殊出生率(%)		H20-24	1.42	—	推計発表なし	R3	推計発表なし	R4	推計発表なし	R6	1.60	—	①
新たな交流人口の拡大(人)		R1	434,557	R2	△ 111,828	R3	△ 138,803	R4	△ 41,569	R6	30,000	-138.6%	②
KPI	交流施設での雇用者数の維持及び増加(人)	R1	12	R2	11	R3	11	R4	3	R6	12	25.0%	③
	木育推進拠点施設の交流人口(人)	R1	—	R2	9,572	R3	10,167	R4	11,016	R6	20,000	55.1%	④
	イベントによる交流人口の増加(人)	R1	—	R2	907	R3	524	R4	785	R6	1,000	78.5%	⑤
	食育・木育・花育イベント開催の満足度(%)	R1	—	R2	—	R3	—	R4	—	R6	70	—	⑥

- ① 厚生労働省より元データが公表され、上川保健所で合計特殊出生率が計算される(当麻町における直近公表情報は平成27年度で1.42)
- ② 基準値 令和元年度観光施設入込客数 434,557人からの増減数
実績値 令和4年度観光施設入込客数 392,988人のため△41,569人
- ③ 基準値 令和元年度:木遊館(職員4名 通所メンバー最大時8人)の12名
実績値 令和4年度:木遊館(受付職員2名 機械室管理1名)の3名 ※R4より「とうま振興公社」が管理運営
- ④ 実績値 令和4年度:木遊館利用人数 11,016人 ※4月～9月:コロナ対策として入館者数を「30人」に制限
- ⑤ 実績値 令和4年度:木遊館イベント参加人数 197人、くまの庭イベント参加人数 588人
- ⑥ 令和4年度:イベント開催によるアンケート調査実施せず

【数値目標・KPI達成に対する外部有識者からの評価】

非常に有効である ・ **有効である** ・ おおむね有効である ・ あまり有効ではない ・ 全く有効ではない

【有識者意見】

- ・ 合計特殊出生率、推計がでていないので効果が見えづらい。人口減は大きな課題となる中、別な目標を設定しないとしっかりとした検証ができない。
- ・ 木遊館、「指定管理者の変更」により施設のあり方やイベント企画が変わるため、今後自治体がどのように関わっていくのか様子をみたい。
- ・ イベント交流、コロナ禍でも数字が伸びたのは評価できる。木遊館の雇用減少は、指定管理者が変わり運営方法も変わるため仕方がない部分もある。
- ・ 先が不明確な中で計画策定や、コロナで全てが狂う状況で木遊館の雇用拡大は厳しいと感じる。今後どう進めるかが大切になる。

まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPI

市町村名 当麻町

【基本目標2 地域資源をいかした産業活性化による雇用の創出を図る。】

数値目標		(基準値)		令和2年度実績		令和3年度実績		令和4年度実績		最終年度 (令和6年度)目標値		R4年度時点 進捗率	※内訳等
		R1		R2		R3		R4		R6			
数値目標	施設や店舗の立地等による新たな雇用者の増加(人)	R1	0	R2	5	R3	8	R4	14	R6	20	70.0%	①
	店舗の新築・改築(件)	R1	0	R2	1	R3	4	R4	5	R6	10	50.0%	②
KPI	新規開業者への補助件数(件)	R1	-	R2	1	R3	4	R4	5	R6	10	50.0%	③
	企業版ふるさと納税額(千円)	R1	-	R2	0	R3	0	R4	1,000	R6	15,000	6.7%	④
	施設や店舗の新築及び改築に関する相談件数(件)	R1	0	R2	4	R3	14	R4	30	R6	20	150.0%	⑤

- ① R2実績 ムーンロイド2人(NANGAオープンはR3)、合同会社コキア1人、パインコーン1人、マウジー1人 合計5人
R3実績 プアラテラス2人、リウカ1人 合計3人
R4実績 丘の上ベーカリーkigi 1人、スヌースカフェ4人 あまほろ1人、合計6人 累計14人
- ② とうまのお店元気事業又は協力隊起業支援補助利用者:
R2~合同会社コキア、R3~プアラテラス、NANGA(オフィス甲斐)、リウカ、R4~スヌースカフェ 累計 5件
- ③ とうまのお店元気事業又は協力隊起業支援補助利用者:②と同
- ④ R2~企業版ふるさと納税にかかる地域再生計画の認定を受け、受入体制を整えるのみであったため実績は0円。 R3~HPで公表・募集しているが、実績は無し。
R4~ホクレン農業協同組合連合会 1,000,000円
※地域再生計画のうち『地域産業の好循環による“当麻の魅力”を生かした新しい人の流れを創造する事業』において活用
- ⑤ 企画商工係への相談件数: R2~4件、R3~10件、R4~16件 累計 30件

【数値目標・KPI達成に対する外部有識者からの評価】

非常に有効である ・ 有効である ・ おおむね有効である ・ あまり有効ではない ・ 全く有効ではない

【有識者意見】

- ・ 補助金の額や対象の拡大について、金融機関としては資金調達の幅が広がるため感謝している。
- ・ 民間企業の社会貢献が増えている中、手段の一つとして企業版ふるさと納税もあるので「寄付したい」と思わせるPRの仕方に期待したい。

まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPI

市町村名 当麻町

【基本目標3 地域産業の好循環による“とうまの魅力”をいかした新しいひとの流れを創造する。】

数値目標		(基準値)		令和2年度実績		令和3年度実績		令和4年度実績		最終年度 (令和6年度)目標値		R4年度時点 進捗率	※内訳等
		R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R6	R6		
数値目標	町外からの転入者数(人)	R1	—	R2	209	R3	378	R4	549	R6	200	274.5%	①
	移住・定住世帯数(件)	R1	—	R2	16	R3	33	R4	53	R6	50	106.0%	②
KPI	移住や定住の相談件数(件)	R1	—	R2	19	R3	31	R4	44	R6	75	58.7%	③
	地域の木材を活用した住宅整備(件)	R1	—	R2	16	R3	33	R4	53	R6	50	106.0%	④
	3育に関するイベントの実施(回)	R1	0	R2	3	R3	18	R4	16	R6	10	160.0%	⑤
	ふるさと納税額(千円)	R1	0	R2	381,611	R3	492,097	R4	496,507	R6	500,000	99.3%	⑥

- ① 町外からの転入者数(住民基本台帳に基づく) 令和4年度 171人 ※累計 549人
- ② 移住・定住世帯数 令和4年度 町産材活用補助利用者 19件、未来へつなぐ宅地循環促進事業 1件 ※累計 53件
(おかえりふるさと応援事業はR2年度で終了)
- ③ 令和4年度相談件数(企画商工係相談受付分) 13件 ※累計 44件
- ④ 令和4年度 町産材活用補助利用者 19件、未来へつなぐ宅地循環促進事業 1件 ※累計 53件
- ⑤ 令和4年度イベント実施回数:くるみなの庭 5回、木遊館 11回 合計 16回
- ⑥ 令和4年度ふるさと納税額 496,506,794円(28,521件)

【数値目標・KPI達成に対する外部有識者からの評価】

非常に有効である ・ 有効である ・ おおむね有効である ・ あまり有効ではない ・ 全く有効ではない

【有識者意見】

- ・ 相談件数や補助金の利活用がうまく循環していると感じる。ふるさと納税額は「横ばい」だが、申込件数が過去最高となっている点は非常に評価できる。
- ・ 住宅建築が全国的に減る中、町の実績について高く評価する。移住・定住件数についても、造成地完成後の動向を注目したい。
- ・ ふるさと納税の目標を高く設定しているが、魅力ある返礼品と、PRもしっかりされていると感じる。転入者も多い印象。
- ・ 木材活用、森林組合だけでなく行政側も一緒に考えていく事が大切であり、管内で1・2を争うほど住宅整備されている。
- ・ 木を切るだけでなく、再造林が100%である当麻は資源の循環がすこよく出来ており素晴らしい。まだまだ利用価値があり、住宅件数を増やすことが利用につながる。

まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPI

市町村名 当麻町

【基本目標4 特色のある地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。】

		(基準値)		令和2年度実績		令和3年度実績		令和4年度実績		最終年度 (令和6年度)目標値		R4年度時点 進捗率	※内訳等
数値目標	観光入込客数(人)	R1	—	R2	322,729	R3	295,754	R4	392,988	R6	400,000	98.2%	①
	スクールバスや福祉バス、タクシーの運行維持	R1	運行維持	R2	運行維持	R3	運行維持	R4	運行維持	R6	運行維持	—	②
KPI	ホームページの閲覧数(件)	R1	—	R2	189,819	R3	223,585	R4	282,008	R6	160,000	176.3%	③
	連携事業の継続	R1	連携継続	R2	連携継続	R3	連携継続	R4	連携継続	R6	連携継続	—	④
	高齢者、障がい者へのタクシーチケットの配布、福祉バスの運行を継続	R1	継続	R2	継続	R3	継続	R4	継続	R6	継続	—	⑤

- ① 令和4年度観光入込客数 392,988人
- ② スクールバス・福祉バス・タクシーの運行維持
- ③ 当麻町ホームページ閲覧数 令和4年度 282,008件
- ④ 上川中部定住自立圏による連携事業継続（令和3年度からは第3期の期間） → 令和4年度より旭川大雪圏域 連携中枢都市圏構想
- ⑤ 高齢者、障がい者へのタクシーチケットの配布、福祉バスの運行を継続

【数値目標・KPI達成に対する外部有識者からの評価】

非常に有効である ・ 有効である ・ おおむね有効である ・ あまり有効ではない ・ 全く有効ではない

【有識者意見】

- ・ 移住促進に力を入れていることは、ホームページでも熱意が伝わる。WEBサイトやSNSは自治体ごとの差別化の手段になるため、更なる充実にも期待する。
- ・ アクセス解析ツールを使い「当麻に何を求めているか」の統計がとれれば、より精度の高い政策につながるのではないか。
- ・ ホームページ中のコンテンツ(映像・文章・写真)が、当麻町は非常にレベルが高い。映像やメッセージ、表情の撮り方など大変優れている。
- ・ 外に向けた発信力は他町に誇れるもの。広報誌も見こたえがあり、多くの時間と労力をつかった素晴らしいもの。告知放送など、町民への発信力も非常に高いと感じる。